

ひだかしんきん 地区内経済概況



***** 目 次 *****

業種別総括		30年7月
概 況		1
漁業・水産加工業		2
農業・軽種馬生産業		3
建設業		3
木材・製材業		4
卸・小売業・観光		4
倒産・雇用状況		5
そ の 他		5
指 標		6～7
トピッ ク		8
インフォメーション		9

《業 種 別 総 括》

概 況

30 年 7 月

〔漁 業〕

- ・ 7月の総水揚げは、漁獲量・漁獲金額ともに前年を上回った。漁獲量では、春定置網漁、ツブ漁が大幅に減少したが、イワシ漁が316tの大幅な増加となった。漁獲金額では、春定置網漁、ウニ漁が減少したが、タコ、イワシ漁、昆布が増加した。一部地区では定置網に大量のイワシが入った。

〔農業・軽種馬生産業〕

- ・ 「セレクトセール2018」（日本競走馬協会主催）が9、10日に開かれ、416頭を売却。売却総額は179億3,200万円（税抜）、と6年連続で過去最高を記録した。売却率は89.66%。
- ・ 「セクションセール」（日高軽種馬農協主催）1歳馬の競り市が17日開かれ、149頭を売却。売却総額は前年比7億6,226万円減の23億4,835万円だった。売却率は77.2%。
- ・ 「第38回北海道花き品評会（切花の部）」が19日、札幌市内で開かれ、三石本桐の宮田直希さんが農林水産省生産局長賞と金賞、三石西端の浦東朝和さんも銀賞を受賞した。

〔建設〕

- ・ 町発注工事（新ひだか〜広尾地区）の月中発注額は5億2,500万円で、前年を4,900万円上回った。
- ・ 日高管内における国・道・町発注公共工事の月中請負金額（北海道建設業信用保証㈱の保証請負金額）は46億5,000万円で前年を18億4,200万円下回った。
- ・ 月中建築確認申請件数（新ひだか〜広尾地区）は、9件で前年を1件下回った。

〔卸・小売業・飲食業〕

- ・ 日高管内の温泉・入浴宿泊施設でつくる「ひだか元気グルメ研究会」は、9月17日まで日高産ツブとタコを使用した「つぶ・たこ、ひだか夏グルメ」を6施設と1店舗で提供している。宿泊券や食事券などが当たるスタンプラリーも実施している。
- ・ 浦河町で、「夏イチゴの日」イベントが15日開かれ、パック詰め放題やイチゴのスイーツづくりなどイチゴづくりの催しに約300人の住民が来場した。夏イチゴが日本一の産地となり、7月15日を「うらかわ夏いちごの日」として登録し、浦河、様似両町でイチゴのイベントを実施している。

〔観光・その他〕

- ・ 「第24回みついし蓬萊山まつり」が8日開かれた。来場者数は4,022人で昨年より3,000人以上減少。
- ・ 「うらフェス」町民参加型芸術祭が21日開かれた。2,000人の来場者でにぎわった。
- ・ 「第12回新ひだか夏まつり」が27・28日開かれた。2会場に2万3,000人が詰めかけた。
- ・ 「うらかわ馬フェスタ2018」「第33回シンザンフェスティバル・第52回浦河競馬祭」が28・29日開かれた。来場者は5,500人。

〔雇 用〕

- ・ 浦河地区と全道の月間有効求人倍率は前年に比べ、浦河地区は下回り、全道では上回った。

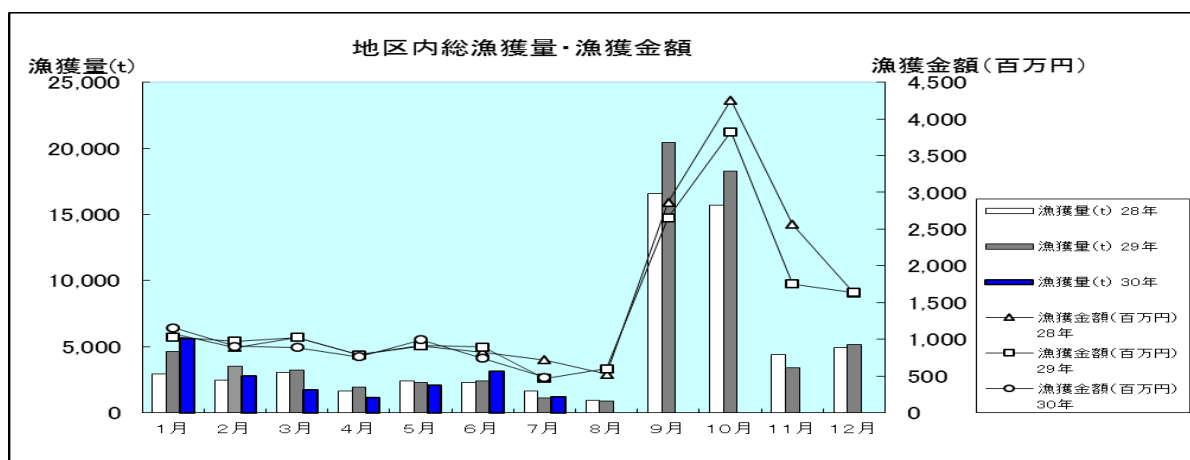
〔総 括〕

- ・ 建設業の月中請負金額（北海道建設業信用保証㈱の保証金額）は前年を下回った。町発注工事は前年を上回っている。また、前月比では、国・道発注工事が増加し、町発注工事は大幅に減少。国・道発注工事主体になっており、中小企業は厳しさが増している。漁業は、漁獲量・漁獲金額ともに前年比増加している。定置網に過去に例がないほど大漁のイワシが入り浜は活気づいた。観光シーズンを迎え小売業・サービス業は各地域のイベント等で賑わったが、観光客の入り込みは、ガソリンの価格高騰や悪天候の影響もあり減少傾向。8月は管内各町で夏祭りが開催され期待感が高まっている。地区内景況は引き続き横這いの状況となっている。

漁業・水産加工業

〔沿岸漁業〕 カレイ、タコ、ツブ漁等。〔沖合い漁業〕 春定置網、キンキ漁等。

総漁獲量 1,204^ト・金額 4億8,500万円(前年同月比76^ト増・1,700万円増)



タコ漁	176 t	・	130 百万円	(前年同月比	7 t 減	・	26 百万円増)
カレイ漁	74 t	・	24 百万円	(前年同月比	3 t 減	・	1 百万円減)
ツブ漁	203 t	・	118 百万円	(前年同月比	110 t 減	・	4 百万円減)
ウニ漁	4 t	・	4 百万円	(前年同月比	11 t 減	・	11 百万円減)
メヌケ漁	2 t	・	1 百万円	(前年同月比	増減なし	・	1 百万円増)
タラ・スケソウ漁	2 t	・	1 百万円	(前年同月比	4 t 減	・	1 百万円減)
昆 布	97 t	・	140 百万円	(前年同月比	17 t 増	・	38 百万円増)
キンキ漁	6 t	・	4 百万円	(前年同月比	5 t 増	・	3 百万円増)
定置網漁	67 t	・	8 百万円	(前年同月比	43 t 減	・	14 百万円減)
サンマ漁	1 t	・	1 百万円	(前年同月比	1 t 増	・	2 百万円減)
イワシ漁	316 t	・	20 百万円	(前年同月比	316 t 増	・	20 百万円増)
その他	256 t	・	34 百万円	(前年同月比	85 t 減	・	38 百万円減)

- ・ 7月の総水揚げは、漁獲量は前年を76^ト上回り、漁獲金額は1,700万円上回った。漁獲量では、イワシ漁が豊漁となり316^トの増加となった。サケマス定置網・ツブ漁が大幅に減少した。漁獲金額は、タコ・イワシ漁、昆布が増加している。サケマス春定置網漁に過去にないほどのイワシが入り、数量・金額の増加要因となっている。
- ・ さけます・内水面水産試験場が今年の秋サケ来遊予測をまとめた。

道内全体で見ると、各地区で増加する見込み。特に昨年の落ち込みが厳しかったえりも以東地区などで2倍を超える予測が出された。北海道の合計は80.6%増の3,137万匹で、3年ぶりに3,000万匹台を回復する見通し。昨年の来遊数は1,737万匹と平成以降で最も少なかった。4年魚と5年魚が生まれた12,13年の海水温の低さが原因と推測されている。

試験場は今年の4年魚は海水温の影響は受けておらず、資源は回復の兆しがあるとしている。地区別の予測値は、えりも以東は、東部61万6千尾、昨年31万4千尾、前年比196.2%。西部114万尾、昨年54万9千尾、前年比207.6%。えりも以西は、日高244万8千尾、昨年88万7千尾、前年比276.0%。胆振151万3千尾、昨年57万5千尾、前年比263.4%の予測値となっている。

(対象は新ひだか、浦河、様似、えりも、広尾の各地区) (「t」はトンを表しています)

農業・軽種馬生産業

〔軽種馬生産業〕

- ・国内最大級のサラブレッドの競り市「セレクトセール2018」（日本競走馬協会主催）がノーザンホースパークで9、10日の両日開かれた。2日間の落札総額は179億3,200万円と過去最高だった昨年を約6億円上回り、6年連続で過去最高の売上を記録した。売却率は89.7%と過去最高を記録。最高額は2億9,000万円。1億円以上で落札されたのは39頭、うち5頭が2億円を超えた。
- ・サラブレッドの1歳馬の競り市「セクションセール」（日高軽種馬農協主催）が17日、静内の北海道市場で開かれた。売却総額は、過去最高だった前年を24.5%下回る23億4,835万円で、売却率は同4.2ポイント減の77.2%だった。今回は、8月開催のサマープレミアムセールと合わせて上場の申し込みのあった735頭の中から質の良い馬を選抜した。最高額は4,428万円で、昨年の最高額を324万円下回った。

〔農 業〕

- ・日高管内で6月下旬から悪天候が続き、軽種馬用の牧草の収穫作業などに影響が出ている。敵期を逃がすと、収量の減少や品質低下にもつながる。軽種馬などの牧場では例年、6月末から牧草収穫の最盛期を迎えるが、7月1日時点の牧草収穫の進捗率は33%で平年から5日遅れ。新冠町の牧場では、採草地約18㌥で一度も牧草を収穫できていない。コメ農家も日照不足に苦しんでいる。株が枝分かれする時期に悪天候が重なったため、収量低下や肥料過多で食味の低下が懸念されている。

〔花き栽培〕

- ・7月の花き出荷実績は、125万5千本、金額1億3,581万円（前年170万7千本、1億2,658万円）。

建設業

〔公共工事〕

- ・日高管内の国・道・町発注公共工事の月中請負金額は、46億5,000万円（北海道建設業信用保証株）の保証請負金額。前年同月比18億4,200万円減少した。

〔町発注工事・建築確認申請〕

	工 事 件 数				金 額 （百万円）				確認申請件数
	土 木	建 築	その他	計	土 木	建 築	その他	計	
新ひだか町	13	0	0	13	241	0	0	241	4
浦 河 町	4	3	8	15	36	10	50	96	1
様 似 町	3	0	0	3	39	0	0	39	1
え り も 町	1	3	1	5	37	51	1	89	0
広 尾 町	4	3	7	14	22	11	27	60	3
計	25	9	16	50	375	72	78	525	9

- ・町発注工事（新ひだか～広尾地区）は50件、5億2,500万円となった（前年同月57件、4億7,600万円）。工事発注状況をみると、前年同月比件数で7件下回り、金額は4,900万円上回った。
- ・月中受付の建築確認申請件数（新ひだか～広尾地区）は9件で、前年を1件下回った。

木材・製材業

〔木 材〕

- ・チップ材の出荷状況(広尾地区)は、数量が1,154ト(前年910ト)で前年比26.8%の増加。出荷金額は2,040万円(同1,536万円)で前年比32.8%増加。

〔製 材〕

- ・建材、プレカット材等は建築業者からの注文で前年並みで推移している。

卸・小売業・観光

〔卸売業〕

- ・本州の野菜・果物類は、7月の台風の影響で総体的に出荷数が減少し前年より高値での取引となっている。地場産では、新冠町のピーマン、新ひだか町のミニトマト、浦河・様似町の夏イチゴの出荷が本格化し、順調に出荷されている。

〔小売業・飲食業〕

- ・浦河町内で夏イチゴ「すずあかね」を生産する若手農家のグループが規格外品を使って開発したアイスクリーム「夏いちごアイス」が、14日から新ひだか町のイオン静内店で発売される。「すずあかね」の特徴的な酸味と牛乳の濃厚さを味わえる自信作で、イオン北海道(札幌)の社内向け見本市で高評価を得た。「夏いちごアイス」は1個税込み350円。すずあかねの果汁を混ぜたアイスクリームに刻んだ果肉を乗せており、内容量90gの55%を果汁・果肉が占める。イチゴの収穫量全体の2～3割が「規格外品」となることから、加藤純さんら3人が、任意団体「北海道ストロベリープロモーション」を結成。釧路市のアイス工場と協力して商品を開発、これまでに町内外のイベントや物産展で約1万3千個を販売した。イオン北海道が開いた社内向け見本市で、大手メーカーの新商品など300点が並ぶ中、従業員2千人が選ぶ「おすすめ商品」の1位になった。

〔観光・その他〕

- ・様似町西町海岸の親子岩ふれ愛ビーチ海水浴場が7日、オープンした。町や観光協会をはじめ関係者が開設安全祈願祭を行い、8月26日までのシーズン中の無事故を祈った。名勝・親子岩が目の前に迫る風光明媚なビーチで、隣接のキャンプ場もこの日開設。道内外からの利用者でにぎわい、今シーズンのキャンプ利用は9月9日まで。昨年から新ひだか町の三石海浜公園のふれあいビーチが運営休止になっているため、日高管内で唯一の海水浴場になっている。
- ・経済産業省資源エネルギー庁が11日発表したレギュラーガソリンの1リットル当たりの道内平均小売価格は153円10銭と前週から横這いとなり、7週連続で150円台の高止まり状態が続いている。全国平均に比べ1円10銭高く、ドライバーが満タン給油を控えたり、運送会社が配達の効率化に動くなど対策を迫られている。2016年に110円台を軸に推移した道内のガソリン価格は、今年5月下旬から14年12月以来の150円台に。軽油も2年前の100円台から、11日の発表では135円70銭に値上がりした。夏の観光シーズンや秋の輸送繁忙期を控え、運輸業界も影響は深刻になっている。トラック101台を持つ運送業シズナイロゴス(札幌)は16年度の軽油費用約1億円に対し、17年度は2割、18年度は4割増えるの見込んでいる。石油情報センターは19日発表分の燃料価格も小幅上昇を見込むなど、高値が続く厳しい夏となりそう。

倒産・雇用状況

〔管内の倒産〕

- 当金庫管内(新冠町～えりも町)の倒産は、1件(前年同月0件)。
当金庫管内を含む苫小牧管内の倒産は、3件(前年同月0件)、負債総額は1億7千万円(同0万円)。

〔道内の倒産〕

- 北海道の倒産件数は18件(前年同月23件)、負債総額は15億5千万円(同59億7千万円)、倒産件数は前月比1件減少、前年比5件の減少となった。
(東京商工リサーチ)

〔全国の倒産〕

- 全国の倒産件数は702件(前年同月714件)、負債総額は1,124億1千万円(同1,098億8千万円)。
倒産件数は前月比12件増加、前年比で12件減少した。

〔雇 用〕

- 7月の浦河地区の月間有効求人倍率は1.71倍で前年比0.06ポイント下降、前月比では0.17ポイント上昇した。有効求人数は1,109人で前年比31人減少、前月比では9人減少した。有効求職者数は624人で前年比3人増加、前月比で69人減少した。全道の月間有効求人倍率は1.16倍で前年比0.07ポイント上昇した。

その他

管内生産馬、中央競馬重賞レース勝馬

- 7/1 第67回 ラジオNIKKEI賞 (GⅢ)
メイショウテッコン 号 (新ひだか町 下屋敷牧場 殿生産)
- 7/1 第54回 C B C 賞 (GⅢ)
アレスパローズ 号 (日高町 ヤナガワ牧場 殿生産)
- 7/22 第66回 中京記念 (GⅢ)
グレーターロンドン 号 (日高町 下河辺牧場 殿生産)
- 7/29 第18回 アイビスサマーダッシュ (GⅢ)
ダイメイプリンセス 号 (日高町 横井 哲 殿生産)

平成30年度普通交付税額決定

平成30年度の日高管内7町への交付総額は前年に比べ約4億6,471万円減の221億4,754万円(2.1%減)となり、えりも町を除く6町で前年より減額になっている。

管内7町の普通交付税の総額は、平成27年度の約242億円から28年度は235億円、29年度226億円で、ここ3年ほどで20億円以上の減額交付になっている。交付額の主な増減要素は、地方財政計画の歳出特別枠の廃止に伴う基準財政需要額の減少、町民税や固定資産税の収入増減。増加のえりも町は、町民税の減少が主な理由。

日高振興局管内

(単位:千円、%)

町 名	平成 30 年度 交 付 決 定 額	平成 29 年度 交 付 決 定 額	増 減 率
日 高 町	4,160,340	4,285,631	▲2.9
平 取 町	2,501,056	2,546,138	▲1.8
新 冠 町	2,346,719	2,446,353	▲4.1
新ひだか町	5,546,953	5,728,275	▲3.2
浦 河 町	3,350,011	3,378,712	▲0.8
様 似 町	2,000,651	2,045,057	▲2.2
えりも 町	2,241,819	2,182,093	2.7
計	22,147,549	22,612,259	▲2.1
広 尾 町	3,119,491	3,223,975	▲3.2

(注) 調査区域: 浦河地区、新ひだか町静内地区及び三石地区、新冠地区、様似地区、えりも地区、広尾地区

《指標》

1 営業区域の人口・世帯数動向（平成30年7月現在）

（単位：人）

町 村 別	人 口			世 帯		
	人 数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
平 取 町	5,125	-90	-8	2,595	-20	0
日 高 町	12,004	-255	-26	6,230	-64	-14
新 冠 町	5,593	-27	1	2,763	21	-3
新ひだか町	22,810	-324	2	11,803	16	7
浦 河 町	12,475	-223	-7	6,782	-3	-1
様 似 町	4,357	-93	-10	2,218	-18	-3
え り も 町	4,728	-128	-18	2,124	-25	-1
日高地区合計	67,092	-1,140	-66	34,515	-93	-15
広 尾 町	6,924	-131	-4	3,390	-29	-10
大 樹 町	5,652	-56	10	2,749	40	5
日高・十勝地区合計	79,668	-1,327	-60	40,654	-82	-20
札 幌 市	1,966,073	3,451	289	952,364	10,094	273
江 別 市	119,018	66	15	57,118	751	38
石 狩 市	58,387	-301	13	27,525	80	39
北 広 島 市	58,706	-180	-8	27,517	269	2
恵 庭 市	69,718	249	84	33,179	477	80
千 歳 市	96,936	453	74	49,247	751	203
石狩地区合計	2,368,838	3,738	467	1,146,950	12,422	635
苫 小 牧 市	171,743	-875	0	88,293	503	64
厚 真 町	4,676	17	15	2,185	38	4
む か わ 町	8,310	-169	-7	4,315	-33	4
胆振地区合計	184,729	-1,027	8	94,793	508	72
営業区域合計	2,633,235	1,384	415	1,282,397	12,848	687

注：日高町の人口数に外国人登録者数は含まれていません。

（資料出所：各市町村）

2 労働需給状況（平成30年7月）

（単位：人、％）

	浦河職安	全 道	前年同月比		前月比	
月間有効求人数	1,109	93,093	-31	4,215	-9	707
月間有効求職者数	624	80,073	3	-1,638	-69	-3,893
月間有効求人倍率	1.78	1.16	-0.06	0.07	0.17	0.06

（資料出所：浦河公共職業安定所）

3 建築確認申請（平成30年7月）

（単位：件）

		件 数	前年同月比	前 月 比
当 金 庫 管 内	当 月 の 申 請	9	-1	-9
(新ひだか町～広尾町)	30/4～30/7 累計	62	12	

（資料出所：各市町村）

4 企業倒産状況(平成30年7月)

(単位: 件、千万円)

	件 数	金 額	前年同月比(件数)	前年同月比(金額)	業 種	地 区
苫小牧管内	3	17	3	17		
うち新冠町～えりも町	1	8	1	8		
北 海 道	18	155	-5	-442		
全 国	702	11,241	-12	253		

(資料出所: 東京商工リサーチ)

5 浦河町・新ひだか町 金融機関預金・貸出金残高(平成30年7月)

(単位: 百万円、%)

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
137,281	3.33	-1.46	50,939	4.38	1.77

(資料出所: 浦河・静内金融協会)

6 浦河町・新ひだか町 手形交換高

(単位: 枚、百万円、%)

	30年7月	前年同月比	前 月 比
交換枚数	300	25.00	85.19
交換金額	328	17.56	34.43
不渡り手形枚数	0	—	—
不渡り手形金額	0	—	—

(資料出所: 浦河・静内金融協会)

7 気象情報(札幌管区気象台発表)

7月中の気象状況

(単位: °C、mm、h)

	本 年			平年偏差・平年比			平年偏差、平年比は、1981～2010年の資料から算出された平年値を使用。気温は当月の平均気温から平年値を差し引いたもの(平年比)。降水量、日照時間は当月の降水量・日照時間の平均を平年値で割り返したものの(平年偏差)。
	気 温	降水量	日照時間	気 温	降水量	日照時間	
浦 河	17.6	195.0	59.1	0.4	134.0	54.0	
広 尾	17.2	193.0	88.4	1.3	111.9	84.5	

(資料出所: 国土交通省・気象庁)

8 各町の水道使用量(平成30年7月)

(単位: t、%)

	一般家庭用	前年比	事業用	前年比	合 計	前年比
新ひだか町 静内	94,331	-3.7	45,564	-8.7	139,895	-5.4
新ひだか町 三石	16,628	-3.9	10,878	-1.0	27,506	-2.7
浦 河 町	58,729	-1.3	24,537	-5.6	83,266	-2.6
様 似 町	23,027	-4.7	11,710	6.1	34,737	-1.3
え り も 町	23,687	-6.7	11,359	1.1	35,046	-4.3
広 尾 町	33,031	-2.0	15,430	0.5	48,461	-1.2

* 広尾町は30年5月分

(資料出所: 各町)

日高振興局では、地域の特色や優位性を皆様に広くアピールさせていただくため、農業、林業、水産業、商工業など幅広い分野で、日高のすばらしさを紹介しています。

今回は、水産関係者による代表的な取り組みについて紹介します。

～日高振興局管内で漁業者になりませんか！～

漁業就業者の減少・高齢化によって、水産物の安定供給や漁村地域の活力低下が懸念されていることから、国の事業制度などを活用しながら新規漁業就業者の確保に努めています。

●漁業就業と暮らし体験企画

「北海道の漁業や漁村の暮らし、漁師の仕事に興味があり、短い期間でも一度体験してみたい！」

そんな皆さんのために、日高振興局、えりも町、えりも漁業協同組合が連携して体験企画を立てました。

当該企画内容を、北海道漁業就業支援協議会が5月8日から約1ヶ月間ホームページに掲載して公募を行いました。

その結果、1名の応募があり、8月2日から8日までの7日間、えりも町でツブ・エビかご漁業を体験したほか、町内の水産施設や観光施設の視察を行いました。

研修期間中は好天にも恵まれ、参加した研修生は「来年から就業してみたい」と、管内の漁業に非常に興味を示して頂くことが出来ました。

●北海道漁業就業支援フェア

漁業就業支援フェアとは、新規漁業就業者を募集している漁協・漁業者と漁業就業に興味を持つ人達が直接話をする場で、北海道で漁師になりたい人、将来を模索している人など、どなたでも気軽に参加できます。

今年の第1回目は5月27日（日）に札幌市のホテルライフオー
ト札幌で開催されました。

当日は、新規漁業就業者を募集する団体が30団体出展し、来場した就業希望者との話し合いにより合意に至ると研修生が誕生し、研修生は一定期間漁業技術の習得に励み、研修終了後にはその地域で新たな漁業の担い手になります。

なお、第2回は平成31年2月に札幌市内で開催される予定となっております。

[illegible]

北海道で漁師になろう!





北海道漁業 就業支援フェア

- ☐ 履歴書不要
- ☐ 予約の必要
- ☐ 家族連れ歓迎
- ☐ 服装自由
- ☐ 未経験者歓迎
- ☐ 入退自由





開催日時 平成30年 **5月27日**(日)

開催時間 12:30~15:30

開催場所 札幌市 ホテルライフオート札幌
札幌市中央区南1条西17丁目

問い合わせ先 北海道漁業振興支援協議会 振興・協働・国際
1300-0001 札幌市 札幌市観光・観光振興課 観光振興課 観光振興課
TEL (011)280-3300 FAX (011)280-3008
Eメール: 000101@hokkaido-net.or.jp <http://hokkaido-net.or.jp/conference>

主催 北海道漁業振興支援協議会 共催 北海道観光振興局

～問い合わせ先～

日高振興局産業振興部水産課 (TEL:0146-22-9321 / FAX:0146-22-7563)

インフォメーション

※ 浦河町内で住宅新築・リフォームをお考えの方へお知らせ。

住宅ローン『特別優遇金利』取扱開始！！

●子育て世帯の「住宅新築・リフォーム」を特別優遇金利で応援します！

●通常の優遇金利とは別に0.10%の特別優遇

●特別優遇金利適用対象者

「浦河町住宅新築・リフォーム等支援補助金」の交付対象者の方に、特別優遇金利で支援します。

※ただし、子育て世帯に該当する場合の補助金交付対象世帯とします。

●特別優遇金利の適用期間

《住宅ローン》

固定金利特約型を選択の場合、選択した固定金利特約期間(3年・5年・10年のいずれか)の間とします。

《リフォーム・無担保住宅ローン・フリーローン》

選択した返済期間の間とします。

※ 別途、保証会社(一般社団法人しんきん保証基金)へお支払する保証料が必要となります。

※ 優遇金利の適用条件や商品内容については、お近くの当金庫窓口へお気軽にご相談ください。

※ ひだかしんきん健康サポート預金

お取扱期間:平成30年8月1日(水)～平成31年7月31日(水)

健康サポート定期預金		健康サポート定期積金	
お預入金額	1口10万円以上 100万円以内	お預入金額	毎月5,000円以上 30,000円以内
お預入期間	1年(自動継続扱い)	ご契約金額	60,000円以上 1,800,000円以内
お預入利率	スーパー定期預金300万円以下1年ものの店頭表示利率に0.10%上乗せ	ご契約期間	1年以上 5年以内
お預入条件	新規お預入れのほか、要求性預金(普通預金等)、既存定期預金からのお預入れも可能です	お預入利率	店頭表示利率に0.10%上乗せ
年1回、「健康診断」を受けましょう！		お預入条件	新規お預入れのほか、既存定期積金満期金のご継続商品としてもご利用いただけます。

健康で豊かな人生をお送りいただくため、特定健診・健康診断等を受診する方を当金庫がしっかりサポート！

※ 詳しくは、当金庫窓口にお尋ねください。



ひだかしんきん営業のご案内

ATM	本 店	〒057-0013 浦河郡浦河町大通 2 丁目 31 の 2	☎ (0146) 22-4111
ATM	堺 町 支 店	〒057-0034 浦河郡浦河町堺町西 1 丁目 83 の 59	☎ (0146) 22-5611
ATM	静 内 支 店	〒056-0016 日高郡新ひだか町静内本町 1 丁目 1 の 15	☎ (0146) 42-1531
ATM	三 石 支 店	〒059-3108 日高郡新ひだか町三石本町 197 の 23	☎ (0146) 33-2311
ATM	様 似 支 店	〒058-0014 様似郡様似町大通 2 丁目 35 の 2	☎ (0146) 36-2341
ATM	えりも支店	〒058-0204 幌泉郡えりも町字本町 170 の 1	☎ (01466) 2-2311
ATM	広 尾 支 店	〒089-2615 広尾郡広尾町本通 8 丁目 7 の 1	☎ (01558) 2-3161
	札 幌 支 店	〒060-0004 札幌市中央区北 4 条西 5 丁目 1—4 三井生命札幌共同ビル 4 階	☎ (011) 200-7070

ATM 営業時間 平日 8 : 45 ~ 18 : 00

※札幌支店を除く各店舗に「ハンドセット搭載機」の ATM が設置されております。

土曜日 ATM 稼働店 : 本店・堺町支店・静内支店・三石支店・様似支店・えりも支店・広尾支店

土曜日 ATM 営業時間 9 : 00 ~ 17 : 00

日曜・祝日 ATM 稼働店 : 本店・静内支店

日曜・祝日 ATM 営業時間 9 : 00 ~ 17 : 00

店外 ATM

浦河町役場内 ATM 浦河郡浦河町築地 浦河役場内 1 階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9 : 00 ~ 16 : 00

浦河赤十字病院内 ATM 浦河郡浦河町東町 浦河赤十字病院内 1 階ロビー

店外 ATM 営業時間 平日 9 : 00 ~ 18 : 00

パセオ堺町店内 ATM 浦河郡浦河町堺町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9 : 00 ~ 19 : 00

マックスバリュ静内店内 ATM 日高郡新ひだか町静内木場町 店内フロア

店外 ATM 営業時間 平日・土曜・日曜・祝日 9 : 00 ~ 19 : 00

※店外 ATM は、全て「ハンドセット搭載機」です。



業務部地域貢献課

〒057-0013 浦河郡浦河町大通 2 丁目 31 の 2

電話 (0146) 22-4100 FAX (0146) 22-6106

URL <http://www.shinkin.co.jp/hidaka/>